

**令和6年度
「教育委員会の点検・評価」報告書
(令和5年度事務事業対象)**

**令和6年 9 月
那須町教育委員会**

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)第 26 条により、教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。同時に、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「那須町教育振興基本計画(総合教育ビジョン)～夢・感動あふれる人づくりを目指して～」に基づき、令和5年度の教育委員会の主要事業、教育委員会の開催状況等について、点検評価委員から点検・評価をいただいた結果を総括的にまとめたものです。

教育委員会では、この点検・評価を次年度への計画等に活かし、夢・感動あふれる人づくりを目指して、一層効果的・効率的な事務の執行に取り組んでまいります。

今後とも、地域、家庭、行政、園・学校が連携・協働しながら保育・教育の質の向上と将来のまちづくりの担い手の育成を図り、持続可能な活力あるまちづくりにつながる教育を一層進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年 9 月

那須町教育委員会

目 次

那須町が目指す人づくり(ライフステージ別).....	1
I 本町の「教育委員会の点検・評価」について.....	2
II 教育委員会の活動状況について.....	5
III 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業	
こども未来課(4事業).....	11
学校教育課(5事業).....	12
生涯学習課(5事業).....	13

IV 令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

○こども未来課

No.	事業名	ページ
1	子育て支援センター事業	14
2	放課後児童健全育成事業	15
3	保育園給食事業	16
4	民間保育園運営支援事業	17

○学校教育課

No.	事業名	ページ
1	学校給食調理業務委託事業	18
2	学校給食費支援事業	19
3	ICT 教育推進事業	20
4	スクールバス運行事業	21
5	小・中学校施設等改修事業	22

○生涯学習課

No.	事業名	ページ
1	図書館管理運営事業	23
2	文化センター自主事業	24
3	三森家住宅保存修理事業	25
4	スポーツ振興事業	26
5	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園管理運営事業	27

【那須町が目指す人づくり(ライフステージ別)】令和4年度～

◆ 妊娠期子育てビジョン ◆ 安心して誕生できる子ども ○お腹の子どもを温かく育み、誕生を喜びをもって迎える家庭 ○出産を迎える家庭を温かく見守り支えあう地域 ○安心して妊娠・出産ができるようしっかり支援する町	<ステージ0>
◆ 乳幼児教育・保育(家庭)ビジョン ◆ 家庭や地域の愛情に包まれる子ども ○愛情を受けて自分に自信がもてる子ども ○安心した環境で生活できる子ども ○遊びを通し、健康ですくすくと成長する子ども	<ステージ1 -(1)>
◆ 幼児教育・保育(幼稚園・保育園等)ビジョン ◆ 健やかに成長し、笑顔の絶えない子ども ○夢や希望をもつ子ども ○自分の考えをもつ子ども ○願いや思いを、率直に言える子ども	<ステージ1 -(2)>
◆ 学校教育ビジョン ◆ 夢と志をもち、多様化する社会で活躍できる「自立・自律」した子ども ○自ら考え、判断し、行動できる子ども ○自己肯定感が高く、自信に満ち溢れ、たくましく生きる子ども ○多様性を認め、互いに尊重できる子ども ○探究心や好奇心旺盛で、「見えない学力」の高い子ども ○地域を誇れる子ども	<ステージ2>
◆ 青少年教育ビジョン ◆ 生き生きと輝き、希望を実現する青少年 ○自立した社会性のある青少年 ○社会の一員として、社会に貢献できる青少年 ○日本の伝統・文化を基盤として国際社会をたくましく生きる青少年	<ステージ3>
◆ 生涯学習ビジョン ◆ ○夢に向かうための教育の推進と青少年の健全育成 ○生涯にわたる学習機会の提供とその充実 ○「町民一人1スポーツ」の推進 ○文化芸術活動の促進による創造性豊かな人づくり	<生涯ステージ>

I 本町の「教育委員会の点検・評価」について

1 目的

教育委員会が立てた基本方針に沿って、具体的な教育行政が執行されているかについて、自らが点検・評価(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことにより、効果的な教育行政を一層推進し、町民への説明責任を果たしていくことを目的とします。

2 教育事務点検評価の対象

町教育委員会では、教育基本法第17条第2項に基づき、令和4年度から5年間に取り組む町教育の方向性を広く町民に明確に示すとともに、教育行政を総合的・計画的に推進するため「第2期那須町教育振興基本計画(総合教育ビジョン)～夢・感動あふれる人づくりを目指して～」(以下「教育ビジョン」という。)を策定し、教育行政施策を推進しています。

教育ビジョンでは、今後10年を通じて目指すべき教育の姿に向け、一人一人の人間が、誕生する前の妊娠期から成長していくライフステージに応じた6つのステージ【那須町が目指す人づくり(ライフステージ別)】に分け、各ステージの施策ごとに取り組む事業を掲げています。

町では、近年の学校教育における様々な変化や課題に柔軟に対応するため、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校との連携により情報の共有を図り、子ども一人一人の状況に応じた支援体制を確立させる必要があることから、令和4年度から、子ども子育て施策を担当する「こども未来課」を教育委員会に移管しました。

これに伴い、令和5年度から教育ビジョンに掲げた全ての事業が、教育事務点検評価の対象事業となりました。

具体的な対象事業は、町教育委員会が前年度に実施した事務の管理及び執行のうち、教育委員会の主要事業として承認されている事業から、主だった事業としています。

(令和6年度対象事業)

- ◆ステージ0: 妊娠期子育てビジョン
- ◆ステージ1(1): 乳幼児教育・保育(家庭)ビジョン
- ◆ステージ1(2): 幼児教育・保育(幼稚園・保育園等)ビジョン
- ◆ステージ2: 学校教育ビジョン
- ◆ステージ3: 青少年教育ビジョン
- ◆生涯ステージ: 生涯学習ビジョン

3 教育事務点検評価結果の構成

○担当課

事務事業を所管する担当課及び係名を記載しています。

○事業概要

教育委員会において教育委員会事業の主要事業として承認を受けている事業の中から、主だった事業について、令和5年度中の実施状況を記載しています。

○成果及び課題

事務事業に対し、担当課による成果・課題と内部評価を記載しています。

A:達成されている

B:概ね達成されている

C:達成状況は低い(外部評価と共通)

○点検評価委員からの主な意見

点検評価委員からいただいた主な意見と外部評価を記載しています。

○今後の方向性

点検及び評価結果を踏まえ、点検評価委員による今後の方向性を記載しています。

4 教育事務点検評価の方法

①自己評価

前年度に実施した町教育委員会所管事業の取り組み状況について自己評価を行い、成果や課題について明らかにしました。

②点検評価委員会の開催(各担当係長による事業説明)

地教行法に基づき、教育に関し学識経験を有する方で構成する点検評価委員会を開催し、各担当係長から事業の取り組み内容について説明を行いました。

③点検評価委員会の開催(点検評価委員からの意見・提言)

各担当係長による事業説明を踏まえ、事業の取り組み状況や自己評価に対して、意見・提言をいただきました。

5 点検評価委員の設置

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定では点検・評価の実施に当たっては、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされています。

令和6年度点検評価では、次の3名の方を外部評価委員として委嘱し、施策に対する評価やご意見、ご提言をいただきました。（任期は2年とし、再任を妨げません。）

氏 名	役 職	任 期
薄葉 保夫	元那須町立黒田原小学校長 元栃木県義務教育課学力向上推進室専門員 元栃木県学力向上コーディネーター	令和5年6月1日 ～ 令和7年3月31日
渡邊 明彦	元那須町立田代友愛小学校長 社会教育主事	
荒井 紀子	元那須町職員 家庭教育オピニオンリーダー	

6 議会への報告

令和6年9月に議会へ報告し、那須町のホームページで公表します。

Ⅱ 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会制度

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる行政委員会であり、教育長と教育委員の構成による合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進はじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

(教育委員会制度の根拠法律:地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の政治的中立性と継続性・安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一般的な推進、の6つがあります。

教育委員会は、教育委員会の代表者である教育長と4人の非常勤の教育委員をもって組織されており、町長が任命しています。

教育委員は、教育行政や学校運営が教育の専門家だけの判断に偏ることがないように、広く社会の常識や住民のニーズを施策に適切に反映させることができる、一般的な学識、経験が豊かであり、人格が高潔な方を適任者としています。

教育委員と教育長の合議により町の教育基本方針を決定し、教育行政の専門家として教育長が事務局を統括して執行する仕組みとなっています。

(「四訂版 教育委員会必携」引用)

2 那須町教育委員会について

令和6年8月1日現在

職 名	氏 名	委員任期
教 育 長	平 久 井 好 一	令和5年10月1日～令和8年9月30日
教育長職務代理者	菊 地 厚 子	令和5年10月1日～令和9年9月30日
委 員	大 森 源 一 郎	令和3年10月1日～令和7年9月30日
委 員	菊 地 昭 一	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委 員	金 田 裕 美 子	令和5年1月1日～ 令和6年9月30日

○教育長

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は 3 年です。

○教育委員

教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命します。

委員の任期は任命の日から起算して 4 年ですが、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間となります。また、委員は再任されることもできます。

地教行法に基づく教育委員会の発足時(昭和 31 年)の委員の任期が、1 年委員 1 人、2 年委員 1 人、3 年委員 1 人、4 年委員 2 人と定められ、これを後任者が引き継ぐことによって、教育委員は毎年一部ずつ解任される仕組みとなっています。これは、委員の改任により急激に教育委員会の行政方針が変わることを避けるとともに、地方公共団体の長及び議会の議員の任期が 4 年であることとも関連して、委員の任命を通じて教育行政の安定性、中立性がおびやかされることを防ぐためです。(「四訂版 教育委員会必携」引用)

3 教育委員会議等の運営及び開催状況等

那須町教育委員会は、原則として年 6 回の定例会を開催しています。また、緊急を要する場合などの必要に応じて臨時会も開催しています。

令和 5 年度の開催状況は、次のとおりです。

No	会議名	会議名	開催年月日	出席委員数
1	第 1 回教育委員会	定例会	令和 5 年 4 月 20 日	5 人
2	臨時会	臨時会	令和 5 年 5 月 25 日	5 人
3	第 2 回教育委員会	定例会	令和 5 年 7 月 27 日	5 人
4	第 3 回教育委員会	定例会	令和 5 年 10 月 3 日	4 人
5	第 4 回教育委員会	定例会	令和 5 年 11 月 14 日	5 人
6	第 5 回教育委員会	定例会	令和 6 年 2 月 15 日	5 人
7	第 6 回教育委員会	定例会	令和 6 年 3 月 14 日	5 人

4 教育委員会議の内容

教育委員会は原則公開ですが、人事に関する議案を審議する場合等では、出席委員の3分の2以上の多数をもって、非公開の会議とする場合があります。

町民が傍聴をしやすくするため、会議の開催日時や場所、協議事項等を告示しています。

○令和5年度教育委員会定例会の審議内容

会議名	議案番号	件 名
第1回 教育委員会	議案第1号	令和5年度教育委員会事業について
	報告事項1	各種許可・認定状況について
	報告事項2	那須町立小中学校児童生徒スポーツ活動等各種競技大会参加費補助金交付要綱の一部改正について
	報告事項3	那須町PTA連絡協議会事業費補助金交付要綱の一部改正について
臨時会	議案第1号	学校事故について
第2回 教育委員会	議案第1号	令和6年度使用教科用図書の採択について
	議案第2号	社会教育委員への諮問について
	報告事項1	各種許可・認定状況について
第3回 教育委員会	報告事項1	教育委員会委員の任命について
	報告事項2	令和5年度「教育委員会の点検・評価」報告書について
	報告事項3	子ども読書推進計画策定について
	報告事項4	各種許可・認定状況について
	報告事項5	いじめの重大事態発生に関する報告について
第4回 教育委員会	議案第1号	令和6年度那須町教育委員会主要事業計画(案)について
	報告事項1	那須町いじめの重大事態発生に関する報告について
	報告事項2	各種許可・認定状況について
	報告事項3	那須町立図書館の指定管理者候補について
第5回 教育委員会	議案第1号	令和6年度那須町教育委員会主要事業等予算(案)について
	報告事項1	那須町いじめの重大事態発生に関する報告について
	報告事項2	学校事故の和解について
	報告事項3	那須町小中学校部活動地域移行検討協議会等設置要綱の新設について
	報告事項4	那須町文化芸術・スポーツ顕彰規則の一部改正について
	報告事項5	那須町教育委員会公印規程の一部改正について
	報告事項6	那須町立小・中学校スクールバスに関する規程の全部改正について
	報告事項7	各種許可・認定状況について

会議名	議案番号	件 名
第 6 回 教育委員会	議案第 1 号	教職員の人事異動について
	報告事項 1	那須町立小中学校児童生徒スポーツ活動等各種競技大会参加費補助金交付要綱の一部改正について
	報告事項 2	各種許可・認定状況について

5 総合教育会議について

地教行法第 1 条の 3 の規定に基づき、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「大綱」という。）を定めなければなりません。

大綱の策定に関する協議及び教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、児童生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置について、地方公共団体の長は、地方公共団体の長と教育委員会により構成する総合教育会議を設け、協議・調整を行うことになっています。

○令和5年度総合教育会議の開催状況

実施年月日	協議内容
令和5年6月13日	（出席者） 町 長 部 局：町長、総務課長、企画政策課長 教育委員会：教育長、教育委員 4 名、学校教育課長、生涯学習課長、こども未来課長、学校教育課長補佐、こども未来課長補佐、こども未来課指導主事、黒田原小学校長、黒田原小学校教頭 （場 所）黒田原小学校黒小っ子ルーム （協議事項） ・幼保小中一貫教育とインクルーシブ教育について
令和5年11月14日	（出席者） 町 長 部 局：町長、総務課長、企画政策課長 教育委員会：教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長、こども未来課長、学校教育課長補佐、学校教育課指導主事 （場 所）那須町役場特別会議室 （報告事項） ・那須町いじめの重大事態発生に関する報告について （協議事項） ・那須町のこれからの教育について

実施年月日	協議内容
令和6年2月15日	(出席者) 町長部局:町長、企画政策課長 教育委員会:教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長、こども未来課長、学校教育課長補佐 (場所)那須町役場特別会議室 (報告事項) ・那須町いじめの重大事態発生に関する報告について (協議事項) ・那須町における「子どもの第三の居場所」について

6 教育委員会の議論の活発化のために

教育委員は、地域の様々な行政課題に迅速かつ的確に対応し、定例会や臨時会、総合教育会議において活発な議論を行い適切な判断ができるよう、教育行政の課題について理解を深めるための施策への勉強会や研修会への参加、学校訪問などを実施しています。

○令和5年度教育委員活動状況

No.	期 日	場 所	内 容
1	4月3日	文化センター	那須町教職員発令式
2	5月26日	埼玉県加須市	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会(埼玉大会)
3	6月22日	那須中学校	計画訪問
4	6月29日	下野市南河内公民館	栃木県公立学校施設整備期成会定期総会
5	7月14日	東陽小学校	計画訪問
6	7月18日	日本遺産(真岡市・益子町)	那須地区市町村教育委員会連合会研修視察
7	9月3日	幸福の科学学園 中学校・高等学校	幸福の科学学園「大鷲祭」視察
8	9月7日	那須塩原市三島ホール	少年の主張那須地区大会
9	9月27日	那須庁舎ほか	那須地区市町教育委員会連合会総会・研修会

No.	期 日	場 所	内 容
10	11月7日	那須町役場庁舎ほか	会津美里町・那須町教育委員会交流会
11	11月8日	栃木県庁	栃木県市町村教育委員会連合会研修会
12	11月19日	文化センター	那須町家庭教育支援講演会
13	1月7日	文化センター	二十歳のつどい
14	1月26日	田代友愛小学校ほか	西郷村・那須町教育委員会合同研修会
15	2月3日	文化センター	那須町プレゼンフェスティバル
16	2月15日	学びの森小学校ほか	野木町教育委員会視察 学びの森小学校視察・意見交換会
17	2月16日	那須町役場庁舎ほか	野木町教育委員会視察 那須町のコミュニティ・スクールの現状と課題について
18	3月9日	各中学校	那須町立中学校卒業式
19	3月19日	各小学校	那須町立小学校卒業式

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【こども未来課】

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	事業概要
1	子育て支援センター事業	1,238	・子育てに関する相談、助言、サロン運営や発達に関する親子支援を行っている。 ・地域の子育て支援として、ファミリーサポートセンターを運営している。
2	放課後児童健全育成事業	89,241	・小学校に就学している子どもで、保護者が就労により昼間家庭にいない子どもや、疫病、介護等により昼間家庭での養育ができない子どもを対象として、その放課後の時間帯において子どもに適切な遊び及び生活の場を提供するための運営支援や施設整備を行っている。
3	保育園給食事業	35,464	・町内公立保育園3園(黒田原第1・黒田原第2・伊王野保育園)の給食調理業務を民間に委託している。 ・保育園給食を運営するための給食管理ソフトによる共通献立等諸帳簿の作成、調理従事者の細菌検査等の実施、防災備蓄品の購入を行っている。
4	民間保育園運営支援事業	9,729	町内私立保育園における子ども子育て支援事業(延長保育・病後児保育)・特別保育事業(1歳児保育担当保育士増員・食物アレルギー対応給食提供)・障害児保育事業等に係る人員確保や入所児童に対する適切な保育の確保を行うため補助金を交付している。

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【学校教育課】

(単位：千円)

No.	事業名	事業費	事業概要
1	学校給食調理業務委託事業	131,736	自校給食による地域に密着した安全でおいしい学校給食を継続するため、調理業務を外部委託する。
2	学校給食費支援事業	14,971	安定した給食の実施と保護者の経済的負担軽減のため、給食費の一部を町が負担するとともに給食費の公会計化により学校職員の業務負担の軽減を図る。
3	ICT教育推進事業	69,402	学習指導要領の改訂によるプログラミング教育の必修化、GIGAスクール構想の実現に向け、小中学校におけるICT環境を整備し、学習活動の充実、教職員の負担軽減を図る。
4	スクールバス運行事業	187,712	小中学校適正配置により遠距離通学となる児童生徒の安全安心な通学を確保するため、スクールバスを運行する。
5	小・中学校施設等改修事業	48,182	小中学校の施設・設備の改修、維持補修工事を計画的に実施し長寿命化を図り、子どもたちの学習環境の維持向上を目指す。

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【生涯学習課】

(単位：千円)

No.	事業名	事業費	事業概要
1	図書館管理運営事業	50,602	那須町立図書館（昭和54年開館、44年目）の管理運営を指定管理者制度により実施している。 ・次期、指定管理業者の選定業務 ・R5年度に実施 館内トイレ改修工事（2・3階） 自動火災報知設備更新工事 防犯カメラ設置工事 床塩ビシート修繕（1階） 図書購入
2	文化センター自主事業	790	一般町民や町内小中学生への文化芸術の振興を図るため、文化センターを活用した文化芸術の鑑賞機会を提供する。 （令和5年度実施事業） ○劇団らくりん座「玉藻の前」公演・かたりべ「鹿の湯とめくらへび石と九尾の狐伝説」他
3	三森家住宅保存修理事業	1,948	国指定重要文化財（建造物）（昭和43年4月25日指定）三森家住宅について、文化財としての価値を保護するため、茅葺屋根の葺き替え等を行った。 （実施年度、令和4・5年度） 令和5年度総事業費 38,950,000円（町負担1,948,000円）
4	スポーツ振興事業	13,854	町民が健康で活気にあふれ、生きがいある生活が送れるよう「町民一人1スポーツ」をスローガンに子どもから高齢者までのスポーツによるまちづくりを推進するため各種大会を開催した。 （令和5年度主な事業） ○町民ゴルフ大会 ○ジュニアゴルフ大会 ○町レクリエーション大会 ○町駅伝大会 ○町マラソン大会等
5	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園管理運営事業	77,296	那須スイミングドーム（平成8年2月設置、28年目）及びふれあい公園の管理運営を指定管理者制度により行った。 （令和5年度主な事業） ○管理運営業務委託（指定管理料） 50,600,000円 ○スイミングドーム井戸ポンプ更新工事 4,565,000円 ○スイミングドーム給湯設備配管更新工事 1,298,000円 ○光熱費超過分負担金 3,513,553円 余笹川ふれあい公園については、経年劣化による遊具の撤去により遊具の種類が少ないため、公園遊具の充実を図るため、新規の遊具を設置した。 （令和5年度） ○余笹川ふれあい公園遊具新設工事 12,430,000円

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	子育て支援センター事業																						
担当課	こども未来課 子育て支援係																						
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他																						
事業概要	目 的	地域子育て支援拠点として、サロン事業等を通して、子どもの健やかな成長と保護者を支援するとともに、子育て短期支援事業（ショートステイ）やファミリーサポートセンター事業等の推進を図る。 また、児童虐待を含む要保護児童等の対策に関して、相談業務の他、関係機関との連携を強化し、迅速な対応を行う。（継続）																					
	取組実績	①児童虐待防止事業 相談件数（相談・介入・支援）：2,115件 ②児童の発達支援事業（年齢に応じた各種教室の開催、保育園発達巡回相談） ③子育て支援センター利用者数（延べ利用人数 1,897人） ④子育てサロン事業（全51回、延べ参加人数 904人） ※概ね毎週水曜日にイベントを開催。 ⑤子育て短期支援事業（延べ利用日数 25日） ⑥ファミリーサポートセンター事業（延べ利用人数 100人）																					
	経過年度事業実績	<table border="1"> <tr> <td>①児童虐待防止事業（相談件数）</td> <td>R3：3,064件</td> <td>R4：2,357件</td> </tr> <tr> <td>②児童の発達支援事業</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③子育て支援センター利用者数</td> <td>R3：1,354人</td> <td>R4：2,015人</td> </tr> <tr> <td>④子育てサロン事業</td> <td>R3：全32回・491人</td> <td>R4：全48回・785人</td> </tr> <tr> <td>⑤子育て短期支援事業</td> <td>R3：0日</td> <td>R4：0日</td> </tr> <tr> <td>⑥ファミリーサポートセンター事業</td> <td>R3：86人</td> <td>R4：45人</td> </tr> </table>				①児童虐待防止事業（相談件数）	R3：3,064件	R4：2,357件	②児童の発達支援事業			③子育て支援センター利用者数	R3：1,354人	R4：2,015人	④子育てサロン事業	R3：全32回・491人	R4：全48回・785人	⑤子育て短期支援事業	R3：0日	R4：0日	⑥ファミリーサポートセンター事業	R3：86人	R4：45人
	①児童虐待防止事業（相談件数）	R3：3,064件	R4：2,357件																				
	②児童の発達支援事業																						
③子育て支援センター利用者数	R3：1,354人	R4：2,015人																					
④子育てサロン事業	R3：全32回・491人	R4：全48回・785人																					
⑤子育て短期支援事業	R3：0日	R4：0日																					
⑥ファミリーサポートセンター事業	R3：86人	R4：45人																					
	事業費 (単位：千円)		R3	R4	R5																		
		決算額	645	705	1,238																		
成果及び課題	成 果	・年度当初に計画した事業については、概ね実行することができた。ただし、冬季に雪の影響でイベントが中止になるなど、利用者が伸び悩んだ。 ・育児に不安や負担を感じている家庭に、子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用を奨励し、保護者の養育負担の軽減と児童の心の安定を図ることができた。 ・支援センターの利便性向上を図るため、令和6年3月から遊び場やイベントのLINE予約を導入した。			内部評価																		
	課 題	ひとり親、経済的困窮、両親の不和、DVなど、複雑な要素が絡んだケースが増えており、一つの相談窓口や機関で完結することが難しくなっている。 役場内の関係部署や県等の関係機関との連携を緊密にし、相互協力により横断的に対応していくことが求められる。			A																		
点検評価委員からの主な意見	・令和5年度の事務点検評価において、多様化する子育て世代に対し、より丁寧な支援を充実させるため、公認心理師や社会福祉士などの専門職員の配置について検討するよう指摘したが、その後、迅速かつ的確に取組みを行い、令和6年度に職員を配置できたことは、子育て世代への手厚い支援となり、大きな安心につながったと評価する。更に強化に努めてもらいたい。 ・子育て世代が安心して子どもと一緒に利用できる素晴らしい施設であり、子育てに大切なサービスを実施している。多くの子育て世代への利用促進を図るため、更に周知を強化すること。 ・わんぱくキッズランドは小学3年生までが利用できる施設である。幼児向けの施設は充実しているが、アスレチック施設など子どもが安心して遊びながら運動機能の向上につながる場所を作って欲しい。			外部評価																			
				A																			
今後の方向性	☒ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止																						

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査書

事業名	放課後児童健全育成事業				
担当課	こども未来課				
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目 的	子育てをしながら働く家庭等を支援するため、また小学校就学児が放課後を安心して過ごさせるよう、放課後児童クラブの管理及び運営補助（公設民営7クラブ8単位、民設民営1クラブ1単位）を行う。（継続）			
	取組実績	年度当初の予定どおり、公設民営7クラブ8単位（運営委託）、民設民営1クラブ1単位の管理及び運営補助として公費負担分の支出を行った。利用児童数は令和5年度実績で公設民営322人、民設民営17人となっており、利用環境維持のため施設の修繕等を行った。			
	経過年度事業実績	R3 実施団体：公設民営7クラブ8単位（運営委託）、民設民営1クラブ1単位 利用児童数：公設民営333人・民設民営30人 R4 実施団体：公設民営7クラブ8単位（運営委託）、民設民営1クラブ1単位 利用児童数：公設民営324人・民設民営20人 R5 実施団体：公設民営7クラブ8単位（運営委託）、民設民営1クラブ1単位 利用児童数：公設民営322人・民設民営17人			
		事業費 (単位：千円)		R3	R4
		決算額	41,068	47,393	89,241
成果及び課題	成 果	保護者が労働等により昼間家庭にいないもの等のクラブを利用する条件を満たした児童を預かり、適正な放課後児童クラブの管理及び運営補助、必要なクラブ数の確保ができたが、クラブが安心して過ごせる場所としての課題が見られたため、運営面での見直し等を行った。			内部評価
	課 題	社会が求める運営母体や職員の技能レベルの基準が上昇しているのに対して、その変化に対応できず、クラブでの児童の行動が学校生活に影響を与えてしまった。また、外遊び需要に応えるため、放課後児童パッケージにも記載されているように、条件なしで外遊び等の機会を与える放課後子ども教室事業との連携を強化していくことが求められている。			B
点検評価委員からの主な意見	・令和5年度の事務点検評価において、利用者も増加傾向にあることから、指導員の確保支援や学校と放課後児童クラブの連携強化、第3の子どもの居場所づくりについて検討するよう指摘したが、その後、迅速かつ的確に民間事業者との調整を行い、令和6年度から第3の子どもの居場所が開設できることは、子育て世代への手厚い支援となり、大きな安心につながったと評価する。民間のノウハウを活用した学童運営により、専門的な資格を有する支援員の確保も含めて忙しい保護者の負担軽減が図られる。 ・忍耐力や協調性、自制心など人の心や社会性に関する非認知能力を高められるよう、放課後児童クラブでの体験的な活動や外遊びを積極的に取り入れること。				外部評価
					B
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☒ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A: 達成されている B: 概ね達成されている C: 達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査書

事業名	保育園給食事業				
担当課	こども未来課保育係				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目 的	安全・衛生面・栄養面に配慮したおいしく、かつ、子どもたちの発育・発達に合わせた給食を安定的に供給する。			
	取組実績	公立4園のうち3園（黒田原第1保育園、黒田原第2保育園、伊王野保育園）の給食調理業務を委託した（千振保育園は自前調理）。また、令和4年度より完全給食実施し、保護者の負担軽減を図っている。			
	経過年度 事業実績	R3 給食調理業務委託 黒田原第1 12,408千円 黒田原第2 6,964千円 伊王野 11,660千円 R4 給食調理業務委託 黒田原第1 12,738千円 黒田原第2 11,066千円 伊王野 11,660千円 R5 給食調理業務委託 黒田原第1 12,738千円 黒田原第2 11,066千円 伊王野 11,660千円			
		事業費 (単位：千円)		R3	R4
		決算額	31,032	35,464	35,464
成果及び課題	成 果	大量の給食調理を専門とする民間に委託することにより調理や衛生管理に関する技術やノウハウを活用し、これまで以上に安全・衛生面・栄養面の配慮や多岐にわたるアレルギー食への対応ができた。			内部評価
	課 題	今後、千振保育園においても調理員が退職した場合業務委託する予定だが、給食調理業務委託先の確保が課題となっている。			A
点検評価委員 からの主な意見	・安全・衛生面・栄養面に配慮したおいしく、かつ、子どもたちの発育・発達に合わせた給食を安定的に供給するために、町の魅力ある子育て支援策として継続して欲しい。			外部評価	
				A	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	民間保育園運営支援事業				
担当課	こども未来課保育係				
制度区分	☒ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目的	私立保育所の運営の円滑化及び入所児童に対する適切な保育の確保により児童福祉の向上を図る。			
	取組実績	町内の私立保育所（那須高原保育園、なすのそら保育園）に補助金を交付した。 那須高原保育園 ①延長保育事業②病児・病後児対応事業③障害児・軽度障害児保育事業④災害掛金免除事業⑤園外保育事業 なすのそら保育園 ①病児・病後児対応事業②食物アレルギー対応給食提供事業③障害児・軽度障害児保育事業④災害掛金免除事業⑤園外保育事業			
	経過年度事業実績	R3 私立保育所運営費補助金（1施設） R4 私立保育所運営費補助金（2施設） R5 私立保育所運営費補助金（2施設）			
	事業費 (単位：千円)	決算額	R3 1,452	R4 9,802	R5 9,729
成果及び課題	成果	私立保育所に補助金を交付することにより、運営の円滑化及び入所児童に対する適切な保育の確保ができた。			内部評価
	課題	施設から保育士宿舎借り上げ支援事業、保育補助者雇上強化事業、保育体制強化事業についても補助の希望がある。令和6年度に新たに補助金を追加する予定。			A
点検評価委員からの主な意見	・幼稚園や保育園から小学校に入学する際の隔たりが生じないよう、民間、町立に関わらず幼保小連携の強化が重要である。 ・病児、病後児対応など、町立保育園では受け入れられない子どもについて民間保育園が受け入れており、町の保育サービスの強化につながっている。 ・施設から保育士宿舎借り上げ支援事業や保育補助者雇上強化事業、保育園体制強化事業についての補助要望が出されている。保育士確保が厳しい状況でもあることから、補助額を上乘せした民間保育園の運営支援を図ること。			外部評価	A
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	学校給食調理業務委託事業				
担当課	学校教育課学校教育係				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目 的	児童生徒の学校生活を豊かにし、心身の健全な発達に寄与するため、自校給食による地域に密着した安全でおいしい学校給食を提供する。（継続）			
	取組実績	給食調理業務を2社へ委託し、安全・安心な給食を安定的に提供した。 ・那須中央中学校区 4校（那須中央中、東陽・学びの森・黒田原小） 委託料 72,336,000円 受託者 株式会社東計 ・那須中学校区 4校（那須中、高久・田代友愛・那須高原小） 委託料 59,400,000円 受託者 公益財団法人栃木県学校給食会			
	経過年度 事業実績	R1 小学校2校27,729,600円 R2 小学校6校86,988,000円、中学校2校33,792,000円 R3 小学校6校86,988,000円、中学校2校33,792,000円 R4 小学校6校92,332,000円、中学校2校39,404,000円 R5 小学校6校92,332,000円、中学校2校39,404,000円			
		事業費 (単位：千円)		R3	R4
成果及び課題	成 果	自校給食により、作りたてで温かい給食を提供することができた。 また、各学校の趣向を凝らした給食を提供することができた。			内部評価
	課 題	安全でおいしい給食を提供するため、調理機材のメンテナンスや計画的な更新を行う必要がある。 (参考) ・物品修繕費 R4： 727,600円、R5： 76,043円 ・備品購入費 R4： 5,865,260円、R5： 4,227,630円			A
	点検評価委員 からの主な意見	・自校給食は、子どもたちへの美味しい給食を提供するため、町の特色である子育て支援策として魅力的で良い事業であり、継続して欲しい。しかし、少子化による児童生徒数の減少や給食施設の老朽化による施設改修、調理機材のメンテナンスなど給食室の維持管理費の増大についても大きな課題である。ついては、子どもたちへの美味しい給食を提供するための方式も含めた給食室のあり方について検討を進めること。			外部評価
今後の方向性					
	☐ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☒ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	学校給食費支援事業					
担当課	学校教育課学校教育係					
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目的	安定した給食の実施と保護者の経済的負担軽減のため、給食費の一部を町が負担するとともに給食費の公会計化により学校職員の業務負担の軽減を図る。（継続）				
	取組実績	児童生徒一人あたり1食30円を助成した。 また、補助事業等を活用し、徴収額の維持を図った。 ・地産地消学校給食事業費補助金 ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金				
	経過年度事業実績	R1 10kg精米を支援 小学校875袋2,868,833円、中学校661袋2,167,215円 R2 10kg精米を支援 小学校875袋2,883,549円、中学校698袋2,271,298円 R3 負担金として支援 小学校6校6,300,000円、中学校2校3,700,000円 ※R4.4.1から公会計化 R4 一人あたりの支援額5,970円（1食30円×199日） R5 一人あたりの支援額6,030円（1食30円×201日）				
		事業費 (単位：千円)		R3	R4	R5
		決算額	10,000	12,070	14,971	
成果及び課題	成果	児童生徒の給食費の一部を助成することで、保護者の経済的な負担軽減を図ることができた。			内部評価	
	課題	物価高騰の影響により給食の提供単価が上昇しており、徴収額の増額を検討する必要がある。 なお、学校給食の無償化は、国の方針を見極めながら検討する必要がある。			A	
点検評価委員からの主な意見	・子育て世帯にとって、給食支援はとて有難い事業であることから、積極的に事業のPRに努めること。 ・町の魅力ある子育て支援策として継続して欲しい。				外部評価	
					A	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	ICT教育推進事業					
担当課	学校教育課学校教育係					
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目的	ICTを活用した教育環境の整備や教員の活用指導力の向上、外部専門スタッフ等によるサポート体制の整備により、児童生徒の学習意欲の向上と「主体的・対話的な深い学び」を育む。（継続）				
	取組実績	1 学校のICT教育支援 (1) プログラミング教育推進スーパーバイザー 1人 (2) ICT授業総合支援員 1人 (3) ICT支援員 2名（ICT支援業務委託による派遣） 2 タブレット活用の環境整備 (1) オンライン学習ソフト（Qubena） (2) 教育用デジタルコンテンツ配信サービス（EduMall） (3) クラウド型授業支援アプリ（ロイロノート） (4) 教育用プログラミングソフト（きょうしつでビスケット）				
	経過年度 事業実績	通年 LTE通信料、電子黒板リース料、情報教育用PCリース料等 R2 iPad導入991台、Macbook1台 R3 タブレット端末用キーボード450台（小学校） R4 電子黒板8台 R5 電子黒板1台				
		事業費 (単位：千円)		R3	R4	R5
		決算額	86,646	80,676	69,402	
成果及び課題	成果	ICTの専門知識を有する人材を雇用することにより、教職員のICT活用能力の向上のための授業支援やサポート体制を強化することができた。 オンライン学習ソフト、デジタル教科書や電子黒板を活用したことにより児童生徒の学習意欲向上や教職員の指導の効率化を図ることができた。			内部評価	
	課題	GIGA第1期に整備したタブレット端末の更新時期を迎えるため、第2期（R6～10年度）において、国が示す補助要件や端末の最低スペック基準を満たす本町に最適な端末を導入する手続きを進める必要がある。			A	
点検評価委員 からの主な意見	・次代を担う子どものため、ICT機器の充実を図ること。 ・ICT教育の推進のため、プログラミングスーパーバイザーやICT授業総合支援員、ICT支援員を活用した教職員への支援を強化すること。			外部評価		
				A		
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	スクールバス運行事業					
担当課	学校教育課学校教育係					
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目 的	小中学校の適正配置に合わせスクールバスを運行し、保護者の負担を軽減する。 また、車両更新を計画的に行い、児童生徒の通学の安全を確保する。（継続）				
	取組実績	東陽小6台、学びの森小2台、田代友愛小2台、那須高原小2台、黒田原小2台、那須中4台、那須中央中6台、予備車2台、計26台の運行管理を行った。 ・小学校 14台 14路線 ・中学校 12台 10路線				
	経過年度 事業実績	H30 小学校12台、中学校9台、予備車1台 計22台 R1 小学校14台（+2）、中学校9台、予備車1台 計24台 R2 小学校14台、中学校10台（+1）、予備車2台（+1） 計26台 R3 小学校14台、中学校10台（±1）、予備車2台 計26台 R4 小学校14台（±1）、中学校10台、予備車2台 計26台 R5 小学校14台、中学校10台、予備車2台 計26台 車内に置き去り防止装置を整備した（予備車2台を除く、県補助金）				
		事業費 (単位：千円)		R3	R4	R5
		決算額	182,858	182,508	187,712	
成果及び課題	成 果	児童327人、生徒193人が利用し、児童生徒が安心して通学できる環境を整えることができた。 バス車内に置き去り防止装置を整備したことで、児童生徒のさらなる安全確保ができた。 また、運行経路の見直しに向け学校での説明会を行い、利用者の理解を得ることができた。（R6年度から4台削減）			内部評価	
	課 題	車両の老朽化により修繕費用が増大しているため、計画的な車両の入替えが必要である。			A	
点検評価委員 からの主な意見	・学校の統廃合に伴い、子どもたちの安心安全な登校にはスクールバスの運行は必要不可欠である。 ・スクールバス停留所までは、保護者による送迎となっているが、異年齢が交流できる通学班は、とても良いものである。バス停留所までのルートが安心で安全である場合は、保護者によらない通学班での移動についても認めることについて検討すること。 ・令和5年度の事務点検評価において、運行経路の見直しについて指摘したが、その後、迅速かつ的確に検討を行い、令和6年度より路線とバスの台数を減らすことができたことは、委託料が減額となり、経費節減につながっている。今後も実情に合わせた運行経路の見直しを行うこと。 ・子どもたちへ貸与している学習端末を活用して、スクールバス部活便予約システムを構築しスクールバスの無駄な運行の減少と運行費用の削減につなげた。			外部評価		
				A		
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	小・中学校施設等改修事業					
担当課	学校教育課庶務管理係					
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目 的	小中学校の施設・設備の改修、維持補修工事を計画的に実施し長寿命化を図り、子どもたちの学習環境の維持向上を目指す。				
	取組実績	東陽小体育館照明更新工事ほか3工事請負費 4,265,690円 東陽小教室棟屋外防水改修工事ほか4工事請負費（維持補修）23,613,150円 旧高久中学校体育館解体工事ほか1工事請負費（解体・撤去）16,489,000円 那須中放送設備更新工事ほか2工事請負費 3,813,590円				
	経過年度 事業実績	R3 小中学校トイレ改修工事 18,832,000円 小中学校特別教室エアコン改修工事 12,265,000円 東陽小受水槽ポンプ流入管改修ほか維持補修工事 1,898,050円 R4 小中学校特別教室エアコン改修工事 28,578,000円 高久小給食室トイレ配管修繕ほか維持補修工事 7,518,850円 R5 東陽小教室棟屋上防水改修工事 20,306,000円 高久中旧体育館解体工事 16,357,000円 黒田原小屋内プール西側外壁補修工事ほか維持補修工事 11,518,430円				
		事業費 (単位：千円)		R3	R4	R5
		決算額	32,995	36,097	48,182	
成果及び課題	成 果	令和3年度に校舎トイレの洋式化率が100%、音楽室などの特別教室へのエアコン設置率が23%となった。 令和4年度に音楽室などの特別教室へのエアコン設置率が34%となった。 令和5年度には、施設の長寿命化を図るために屋上防水工事の実施や学校の安全な運営のための体育館解体工事を実施した。			内部評価	
	課 題	学校施設の多くは、昭和40年代から50年代に建設されており、改修を必要とする時期を迎えている。 将来を担う子どもたちや地域住民が安心して利用できる学校施設の実現のため、施設の長寿命化に向けた計画的な改修が必要である。			B	
点検評価委員 からの主な意見	・限られた財源の中で、学校施設の在り方について検討する必要がある。 ・学校プールについては、改修せず、町のスイミングドームでのプール授業移行について検討が必要である。 ・熱中症対策のためにも特別教室へのエアコン設置も検討が必要である。				外部評価	
					B	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	図書館管理運営事業				
担当課	生涯学習課 生涯学習係				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☒ その他				
事業概要	目的	那須町立図書館（昭和54年開館、44年目）の管理運営を指定管理者制度により実施する。また、次期指定管理者の選定業務を行う。 H31.4.1～R6.3.31（5年間） 年間指定管理委託料：45,007千円 指定管理者：株式会社図書館流通センター			
	取組実績	・次期、指定管理者の選定 R6.4.1～R11.3.31（5年間） 年間指定管理委託料：48,576千円 指定管理者：株式会社図書館流通センター ・年間指定管理委託料 45,007千円 ・館内トイレ改修工事（2・3階） 2,508千円（寄附金充当事業） ・自動火災報知設備更新工事 1,815千円（寄附金充当事業） ・防犯カメラ設置工事 767千円（寄附金充当事業） ・床塩ビシート修繕（1階） 285千円（一部寄附金充当） ・図書購入 220千円（寄附金充当事業）			
	経過年度事業実績	・年間指定管理委託料：45,007千円（H31～R5まで同額） R3年度 ・図書購入費：200千円（寄附：大田原信用金庫） ・排気口他修繕費：751千円 R4年度 ・非常用照明更新工事：1,496千円 ・図書購入費：535千円（寄附：大田原信用金庫他1社） ・備品購入費：1,045千円（寄附：Future Work Design株式会社） ・電気料金高騰による負担金：510千円			
	事業費 （単位：千円）		R3	R4	R5
	決算額	45,958	48,593	50,602	
成果及び課題	成果	指定管理者（株式会社図書館流通センター）は、協定書及び仕様書等に基づき、図書館の管理運営業務は出来ており、常に町と連携をとりながら業務及び修繕などを行っている。 また、施設の備品や修繕などにふるさと納税企業版として寄附して下さる企業もあり、少しずつ備品の整備も進んでいる。			内部評価
	課題	施設の老朽化に伴い、修繕費が増大するため、計画的な修繕が必要となっている。また、来館者の高齢化に伴いエレベーターの設置や新築を望む声もあるが、レトロ感が良いという声もあり、施設の耐震や費用などについて検討する必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	・本町の図書館の特色を生かして、近隣の図書館との共存を図ること。 ・町広報紙からも図書館での様々な取組み状況を把握することができている。引き続き、事業の充実を図り利用者増に努めて欲しい。			外部評価	
				A	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	文化センター自主事業				
担当課	生涯学習課 文化振興係				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目 的	町民、特に新型コロナウイルスの感染拡大により芸術鑑賞機会の失われた児童生徒への文化芸術の振興を図るため、身近な公共ホールで上質な文化芸術鑑賞機会を提供する。			
	取組実績	中学生鑑賞事業として九尾の狐にまつわるかたりべ・演劇公演を実施。中学生・一般の約500名が鑑賞。 小学生鑑賞事業としてブラックボトムブラスバンドによるジャズ公演を実施。小学生・一般の約500名が鑑賞。			
	経過年度事業実績	【R4】 中学生鑑賞事業として平家物語那須与一の段（長唄舞踊劇）を実施。中学生約400名が鑑賞。 文化センター自主事業として、ときめくひととき公演（木琴コンサート）を実施。310名が鑑賞。			
	事業費 (単位：千円)		R3	R4	R5
	決算額	0	1,446	790	
成果及び課題	成 果	中学生鑑賞事業では那須町ゆかりの九尾の狐伝説にまつわる物語を学ぶ機会となり、小学生は体全体でジャズを楽しむ姿が見られるなど、歴史文化や文化芸術の振興の一助となったと思われる。事業実施後のアンケートではそれぞれ回答いただいた方の9割以上の方が満足したと回答。今後もより満足度の高い事業を展開していきたい。			内部評価
	課 題	自主事業の課題は集客の難しさがあげられ、できるだけ多くの町民のみなさまに文化芸術に触れていただくため、文化芸術鑑賞をするという文化を根付かせることが重要かと思われる。			A
点検評価委員からの主な意見	・支出を抑えつつも良い事業が実施できている。 ・事業のPR方法を工夫すること。 ・町民に質の高い文化芸術に触れる機会を提供するために、専門的な知識を持つ事業者に運営を任せて町民が興味を持つような催し物を検討すること。 ・地域住民参加型の上質で本物に触れることができる子どもたちの鑑賞授業を検討すること。 ・補助事業等を活用した事業の実施についても検討すること。			外部評価	
				A	
今後の方向性	☒ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	三森家住宅保存修理事業				
担当課	生涯学習課 文化財係				
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目的	国指定重要文化財（建造物）（昭和43年4月25日指定）三森家住宅について、劣化が進んでいる主屋屋根の葺き替えと表門の部分修理を行うことで文化財としての保護及び保存を図る。			
	取組実績	【主屋】屋根葺き替え、下地材の締め直し、飾竹の更新、谷の杉皮の取替え、内部の畳替え、背面の下見板壁のカビ・苔の洗い落とし、防腐防蟻剤の塗布 【表門】背面のカビ・苔類の洗い落とし、防腐防蟻剤の塗布			
	経過年度事業実績	R 4・・・茅葺材の購入 （総事業費：12,000,000円 負担割合：国85%、県5%、町5%、事業主5%） R 5・・・屋根葺き替え、下地材の締め直し、飾竹の更新、谷の杉皮の取替え内部の畳替え、背面の下見板壁のカビ・苔の洗い落とし、防腐防蟻剤の塗布 （総事業費：38,950,000円 負担割合：国85%、県5%、町5%、事業主5%）			
	事業費 （単位：千円）		R3	R4	R5
	決算額		600	1,948	
成果及び課題	成果	令和4年度、5年度の2カ年計画で整備していた国指定重要文化財三森家住宅の主屋・表門保存修理工事について、予定どおり事業を実施し、文化財としての保護及び保存を図ることができた。			内部評価
	課題	三森家住宅の所有者が高齢であり、かつ跡継ぎの見込みがない状況であり、今後の保存管理及び活用方法について、町がどのように関わっていくか検討していく必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	・国指定重要文化財の保存管理及び活用方法について検討を行うこと。				外部評価
					A
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている

B:概ね達成されている

C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	スポーツ振興事業				
担当課	生涯学習課 スポーツ振興係				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目的	「町民一人1スポーツ」をスローガンに、子どもから高齢者までの生涯スポーツの推進及びスポーツを支える団体・組織の活動を推進する。 ・町マラソン大会、町駅伝大会等の開催 ・町スポーツ協会への支援 ・町スポーツ推進委員による活動推進 ・全国大会等出場選手の激励等			
	取組実績	令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、予定どおり事業を行うことができた。また、町マラソン大会については4年ぶりに開催することができた。 【実施事業】ニュースポーツ出前教室:29回532人、体力測定:1回31人、町民ゴルフ大会(春):196人、町民ゴルフ大会(秋):147人、ジュニアゴルフ大会:151人、町レクリエーション大会:131人、町駅伝大会:373人、町マラソン大会675人			
	経過年度事業実績	○ニュースポーツ出前教室(R3-7回134人、R4-18回355人、R5-29回532人) ○体力測定(R3-2回34人、R4-1回16人、R5-1回31人) ○町駅伝大会(R3-中止、R4-301名、R5-373名) ○町民ゴルフ大会(R3-2回287人、R4-2回351人、R5-2回343人) ○ジュニアゴルフ大会(R3-148人、R4-160人、R5-150人) ○町レクリエーション大会(R3-67人、R4-66人、R5-131人) ○全国大会等出場選手激励(R3-31件、R4-59件、R5-54件)			
	事業費 (単位:千円)		R3	R4	R5
	決算額	5,907	8,572	13,854	
成果及び課題	成果	各種大会等を開催することにより、幅広い年代層において、スポーツに触れる機会を提供することができた。また、4年ぶりの開催となった町マラソン大会では、様々な調整や準備が必要であったが、関係者の協力により実施することができた。 町スポーツ協会事業については、各専門部への運営補助により、町民大会の開催等、スポーツをする場の提供とともに、組織の育成を図ることができた。			内部評価
	課題	マラソン大会を4年ぶりに開催することができたが、目標の参加人数に達しなかった。マラソン大会は公道を通行止めするため、必然的にスタッフ人数が多くなり、経費や準備作業も膨大になることから、今年度は開催を見送り、大会内容の変更等について、検討する必要があるが生じている。			A
点検評価委員からの主な意見	・昨年度の町マラソン大会は周知不足が否めず参加者数も目標人数には至らなかった。他自治体開催のマラソン大会などとの連携した周知方法などを検討する必要がある。 ・町民一人1スポーツの推進のために町スポーツ協会への支援は拡充する必要がある。 ・町民一人1スポーツの推進に向け、引き続き、出前教室などのPRを行う必要がある。			外部評価	
				A	
今後の方向性	☒ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和5年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園管理運営事業				
担当課	生涯学習課 施設管理係				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目 的	那須スイミングドーム及び余笹川ふれあい公園（平成8年設置、28年目）の管理運営を指定管理者制度により実施する。 指定管理期間：R5.4.1～R10.3.31(5年間) 年間指定管理料：50,600千円 指定管理者：環境整備株式会社			
	取組実績	R5利用者 那須スイミングドーム 42,734人（前年度比：2,233人増） 余笹川ふれあい公園 16,455人（前年度比：9,233人減） 指定管理料：50,600千円 光熱費超過分負担金：3,514千円 スイミングドーム井戸ポンプ更新工事：4,565千円 余笹川ふれあい公園遊具新設工事：12,430千円			
	経過年度事業実績	利用者 那須スイミングドーム 余笹川ふれあい公園 R2 30,136人 11,347人 R3 35,599人 12,578人 R4 40,501人 25,688人（国体開催） R4年度 指定管理料：49,500千円（H30～R4） 光熱費超過分負担金：7,669千円 北側公衆トイレ屋根防水改修工事：1,100千円			
	事業費 (単位：千円)		R3	R4	R5
	決算額	55,106	71,078	77,296	
成果及び課題	成 果	指定管理者（環境整備株式会社）は、協定書及び仕様書等に基づき、利用者の安全を最優先とした管理運営業務ができている。また、施設の老朽化に伴う修繕・改修については、軽微なものは指定管理者において実施し、その他については町で適宜実施している。			内部評価
	課 題	施設の老朽化に伴い、修繕費が増大するため、特に那須スイミングドーム機械設備等の修繕を計画的に実施していく必要がある。また、余笹川ふれあい公園の遊具について、充実を図るため、更なる整備を検討していく必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	・町の小中学校のプール授業の利用も増加してくると思われるため、スイミングドーム施設の充実を図るため、修繕や設備更新を計画的に実施する必要がある。 ・指定管理者が行う水泳教室はサービスが充実しており利用者から喜ばれている。			外部評価	
				A	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

